

令和6年

第2回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

# 令和6年第2回仙北市議会定例会 市政報告

令和6年第2回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、行財政改革についてです。

2月9日、総合政策審議会を開催し、第2次仙北市総合計画改訂版について、各産業分野の委員からご意見をいただきました。

いただいたご意見を反映させた総合計画を新たなまちづくりの設計図とし、「幸福度全国No.1」という市政理念の実現を目指した取組を進めます。

次に、仙北市人口動態についてです。

令和6年1月末日現在の人口は2万 3,386 人で前年同月比 659 人減、世帯数は1万 322 世帯で前年同月比 76 世帯減となっております。今年度1月までの出生数は 68 人となっております。前年同時期の出生数は 59 人で、9人増という状況です。

引き続き子育て支援や若者関連施策の取組等について積極的に情報提供するとともに、その財源確保に向け、国や県への要望を続けます。

次に、一般会計補正予算(第 15 号及び第 16 号)についてです。

第 15 号の補正額は、978 万 9 千円の追加で、補正後の額は 237 億 2,026 万円です。補正事業は冬期交通対策費です。除雪車の修繕料などに不足が見込まれるため、定例会初日の議決をお願いするものです。

第 16 号の補正額は、6 億 3,557 万 9 千円の追加で、補正後の額は 243 億 5,583 万 9 千円です。主な事業は、地籍調査事業費、ふるさと納税ふるさと便事業費、障害者自立支援給付費、教育・保育施設給付費、病院事業会計補助金、農地中間管理機構関連ほ場整備

事業費などです。

第 2 表繰越明許費補正は追加、第 3 表債務負担行為補正は追加及び変更、第 4 表地方債補正は追加及び変更です。

## 【総務部】

### ◇高齢者叙勲の受章について

2月1日、高齢者叙勲の伝達があり、元西木村議会議員の武藤耕三むとうこうぞうさんが、地方自治功勞により旭日単光章を受章されました。この度の受章は、永年にわたり地方自治発展のためにご尽力された功績が認められたものです。市民の皆様と共にご労苦に感謝し、心からお祝いを申し上げます。

### ◇固定資産税実地調査について

固定資産税の実地調査について、現在、令和6年度の固定資産税の税額に反映させる作業を行うとともに、その調査結果を取りまとめているところです。

調査結果については最終調整中ですが、現況地目の変更や住宅用地の特例の修正等により、固定資産税税額が大きく変動する納税者が発生する見込みです。5月に発送する納税通知書への説明文書の同封、大きな影響を受ける納税者への個別説明など、丁寧な対応を行ってまいります。

調査結果がまとまり次第、議員の皆様にご説明する機会をいただきたいと考えています。

### ◇大雨災害義援金の支給について

7月の大雨災害の床上床下浸水の被害に遭われた方々への義援金について、秋田県大雨災害義援金募集配分委員会から配分を受けておりましたが、1月30日に全世帯へ支給が完了しました。

床上浸水8世帯に1世帯あたり2万4千円、床下浸水49世帯に1世帯あたり1万2千円を支給し、合計78万円となっています。

## 【企画部】

### ◇ふるさと納税について

能登半島地震により被災している石川県に代わって、1月23日から返礼品なしの災害代理寄附を開始し、2月20日現在3,091万円ほどの寄附がありました。寄附金については決済手数料等を除き、全額石川県に送金します。

また、同日現在のふるさと納税全体の今年度寄附額は24億4,826万円に達しており、過去最高額を記録しています。これに伴い、関係予算を本定例会に提案しています。よろしくご審議をお願いいたします。

### ◇「サテライトオフィス誘致」冬の視察ツアーについて

1月18日から3日間、誘致視察ツアーを実施し、冬の仙北市を体験いただきました。IT関連の首都圏企業など7社11人の参加がありました。

ツアー最終日の振り返りでは、複数の企業から市内進出に前向きな意向がありました。更に、参加企業の外国人システムエンジニアが移住を念頭に、家族も連れて小学校やこども園等を見学するために再び仙北市を訪れるなど、誘致活動に手ごたえを感じています。

今後も参加企業のフォローアップを継続し、仙北市への進出が実現するよう努めます。

### ◇「インターナショナルスクール誘致」視察ツアーについて

1月22日から25日まで誘致視察ツアーを実施しました。国内やシンガポール等のインターナショナル関係法人5社5人が参加し、市内の学校設立候補地のほか、わらび座、スキー場、スポーツセンター、田沢湖、樺細工伝承館などの文化施設や屋外活動が可能な場所等を見学いただきました。

本市への学校設立や、サマーキャンプ地としての利用に前向きな

意見もありました。参加者それぞれの要望に対し、今後も丁寧な対応を心がけ、誘致につながるよう努めます。

## 【市民福祉部】

### ◇「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金(追加分)給付事業」と「灯油購入費緊急助成事業」について

令和5年度市民税の非課税世帯に対し、1世帯あたり7万円を追加で給付する事業は、課税者の被扶養者のみの世帯を除き、対象3,385世帯に対し、3,342世帯、98.7%が支給済みとなっています。

また、市民税非課税世帯に1世帯あたり8千円の灯油購入費を助成する事業は、対象3,649世帯に対し、3,601世帯、98.7%が助成済みとなり、低所得世帯への生活支援となっています。

### ◇仙北市ヘルスケア DX について

1月30日、田沢湖庁舎において医療 MaaS 車両のせんぼく医信電診丸及び PHR の健幸DX 手帳アバターのデザイン表彰式を行いました。せんぼく医信電診丸は角館中学校美術部の辻谷朝美さん(市長賞)、辻遥香さん(副市長賞)、佐々木美佑希さん(教育長賞)のデザイン、健幸 DX 手帳のアバターは西明寺小学校の赤倉ゆき乃さん(市長賞)のデザインに決定しました。

2月2日、西木庁舎においてせんぼく医信電診丸の出発式を執行了いました。交通手段の少ない地域への医療提供体制を確保するための有効な手段と考えており、今後は関係機関等と連携を図りながら更なる発展を視野に推し進めてまいります。

## 【観光文化スポーツ部】

### ◇令和5年入り込み客数等について

令和5年1月から12月までの年間入り込み客数の速報値は約 359万人で、令和4年の約 312万人と比較し、対前年比 115%となりました。

た。また、宿泊者数の速報値は45万 8,851 人で、昨年の 42 万 5,237 人と比較し対前年比 108%でした。

また、インバウンドは急激に回復しており、外国人宿泊者数の速報値は合計 25,508 人で、昨年の 2,819 人と比較し対前年比 905%、約 9 倍となりました。

#### ◇小正月行事等について

令和6年の小正月行事等は白岩城址<sup>とうかさい</sup>燈火祭、上桧木内の紙風船上げ、どんど焼き、角館の火振りかまくら、田沢湖高原雪まつり、中里のカンデッコあげ、なろかは、雪が少なかった影響や季節外れの雨もあり一部で規模縮小もありましたが、無事に実施されました。多くの観光客が訪れ、また海外も含めたテレビ等の取材も多くありました。

#### ◇仙北市観光大使の新任・退任について

2月19日、プロバスケットボール選手の田口成浩選手<sup>たぐちしげひろ</sup>、ラート選手の高橋靖彦選手<sup>たかはしやすひこ</sup>を新たに仙北市観光大使に任命しました。お二人はどちらも角館町出身で、秋田ノーザンハピネッツ所属のスポーツ選手としての知名度があり、誘客活動や地元への愛着を活かした本市の魅力発信を期待し、任命したものです。今後、更に仙北市を広く全国に紹介していただく活動にご協力をお願いしたいと考えています。

また、初代観光大使の古賀和則さん<sup>こがかずのり</sup>が株式会社バスクリン相談役を退任されることに伴い、2月29日をもって観光大使を退任されます。更に、小説家の故・西木正明さん<sup>にしきまさあき</sup>は昨年12月にご逝去されたことに伴い、俳優の中尾彬さん<sup>なかおあきら</sup>、池波志乃さん<sup>いけなみしの</sup>ご夫婦は申し出により、3月31日をもって観光大使を退任されます。

これにより、令和6年度は観光大使8人と台湾親善大使1人からご協力をいただき、仙北市観光を盛り上げていきたいと考えています。

#### ◇フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会の中止について

2月17日と18日に開催を予定していた、2024 フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会について、1月31日時点における積雪量及びその後の降雪予報などを基に検討したところ、コース造成に十分な積雪量がないこと及び大会を安全に開催することが難しいとの判断から、実行委員会において中止が決定されました。

この競技会は、スキー人口の拡大や冬季の誘客促進を目的としており、来年度以降も継続して開催していく予定です。

## 【農林商工部】

### ◇仙北市技能功労者表彰について

1月19日、角館庁舎において仙北市技能功労者表彰を行いました。これは技能者の社会的・経済的地位及び技術水準の向上を図るとともに、本市産業発展に資することを目的に行われたもので、左官分野で千葉直喜<sup>ちばなおき</sup>さん、建設分野で中村和好<sup>なかむらかずよし</sup>さんが受賞しました。

今後もそれぞれの分野において中核的な役割を担い、後継者育成にもご尽力いただくことを期待しています。

### ◇誘致企業認定について

1月22日、株式会社ジェニオの仙北市内への事業所設立に向けた協定を株式会社ジェニオ、秋田県、仙北市の3者で締結し、同社に対して秋田県及び仙北市が誘致企業認定書を交付しております。

同社はサテライトオフィスとして3例目の誘致企業となりました。本市における事業展開は、4月に角館駅前のコワーキングスペース「ORENCHI(オレンチ)」に事業所を設置し、7月から事業を開始する予定となっており、今後の雇用創出が期待されます。

### ◇角館雛めぐりについて

2月17日、外町交流広場を会場に、5年ぶりに角館雛めぐりのオープニングセレモニーが行われました。当日は、餅つきの振る舞いやガイド付き雛めぐりが行われ、大いに賑わいました。

角館町の武家や商家で代々受継がれてきた<sup>きょうほうびな</sup>享保雛や<sup>こきんびな</sup>古今雛の<sup>ふるびな</sup>古雛、<sup>おしえびな</sup>押絵雛や<sup>つちにんぎょう</sup>土人形などを町内約 40 か所で、3月3日まで展示しています。

## 【建設部】

### ◇盛岡秋田道路・大曲鷹巣道路整備促進フォーラムについて

2月 16 日、グランデールガーデンを会場に盛岡秋田道路・大曲鷹巣道路整備促進フォーラムを開催し、国土交通省東北地方整備局<sup>きむらやすひろ</sup>木村康博道路部長、<sup>たかはしごう</sup>高橋豪秋田県議会議員をはじめ多数の来賓を迎えし、80 人あまりが参加して盛会裏に終えました。

両同盟会の要望活動としては、盛岡秋田道路では、「生保内～卒田間」の早期計画策定、大曲鷹巣道路では、国直轄権限代行で事業が進められている<sup>だいかくのとうげ</sup>「大覚野峠防災」の整備促進を主な要望としています。

今後も強力に要望活動に努めてまいりますので、議員の皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### ◇カラ吹き2号源泉埋坑工事について

カラ吹き2号源泉埋坑工事は、3月を工期として請負業者と契約しておりましたが、このたび工事に安全を期し、施工方法を再検討する必要性が生じたため、工事を中止し、請負業者と契約を解除しました。今後も安全を第一に源泉の廃止に向け作業を進めます。

## 【医療局】

### ◇発熱等風邪症状の発生状況について

1月末までの発熱外来の受診件数は、角館総合病院で対前年比 2,644 件減の 3,629 件、田沢湖病院で対前年比 17 件増の 1,152 件となっています。11 月から 12 月まではインフルエンザの感染者が目立ちましたが、1月以降は新型コロナの感染者の割合が多い状況となっています。



また、角館総合病院での新型コロナの入院患者数は1月末現在、1,075人減の594人で前年と比べ大幅に減少しています。